

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR I 作業班（第 6 回）議事要旨案

- 1 開催日時：平成 27 年 7 月 31 日（金） 14：00～16：50
- 2 開催場所：金融庁 13 階 1320 会議室
- 3 出席者（順不同・敬称略）

【構成員】 兩宮主任（NTT-AT）、堀主任代理（ソニー）、秋山構成員（NTT-AT）、橘高構成員（ARIB）、幸島構成員（TELEC）、小松崎構成員（パナソニック）、醍醐構成員（JBMIA）
垂澤構成員（NTT ドコモ）、千代島構成員（PFU）、沼田構成員（TBS ラジオ）、濱住構成員（NHK）、廣瀬構成員（JEITA）、牧本構成員（JQA）、松田構成員（JEITA）、村上構成員（JET）

【事務局】 澤邊電波利用環境専門官、川口電波監視官、野村電磁障害係長、小栗（総務省）

4 議事概要

- (1) 兩宮主任から、構成員の交代があった旨のお知らせがあり橘高構成員から挨拶があった。
- (2) 事務局から配付資料の確認が行われた。
- (3) 資料 6-1 前回議事要旨（案）について、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することで承認された。
- (4) 資料 6-2-1 CISPR ストレージ会議 I 小委員会 総会 対処方針（案）について兩宮主任から、資料 CISPR ストレージ会議 I 小委員会 WG2 対処方針（案）について千代島構成員から、資料 6-2-3 CISPR ストレージ会議 I 小委員会 WG4 対処方針（案）について牧本構成員から、それぞれ説明があった。質疑応答の概要は以下のとおり。

・資料 6-2-2 の審議項目 3. 1 の審議内容 5) について新型の AAN について杉浦委員から報告されると記載されているが、報告するのは兩宮委員である。

→修正する。

・資料 6-2-2 の FAR サイト評価について A 委員会に照会をしたところ特段の技術的修正意見はなかった。SC77B とも連携して進めていくことを確認。

・資料 6-3-2 について一部フランクフルト会議となっている。

→ストレージ会議に記載を修正する。

- (5) 資料 6-3-1 電波利用環境委員会報告概要（案）（SC/I 関連）及び資料 6-3-2 電波利用環境委員会報告（案）（SC/I 関連）について、両宮主任から説明があった。
- (6) 資料 6-4 CISPR ストレージャ会議 SC/I 関連会議参加者（案）について、特に異議なく承認された。事務局参加者については、出席者が決まり次第、後日改めて、メール審議等で承認することとなった。
- (7) 本日の審議結果をもとに、電波利用環境委員会報告（案）を作成し、8月24日の電波利用環境委員会において対処方針を審議することとした。
- (8) 資料 6-5-1 から資料 6-5-4 にもとづき CISPR32 国内答申（案）について千代島構成員から説明があった。質疑応答の概要は以下のとおり。
- ・ 資料 6-5-1 の審議結果エの文章が日本語として理解が困難である。
→修正する。
 - ・ 「有線ネットワークポートである交流電源ポートは、表 A. 10 の許容値に適合すること。」の文章は、なぜ CISPR32 に入っていないのか。
→PLC に関係のある記述であるため。
 - ・ 資料 6-5-1 の審議結果はどのような趣旨が記載されているのか。情報通信審議会技術分科会で聞かれるので正確な理解をしておく必要がある。
→国内の事情を加味しての緩和措置について簡潔に記載してある。
- (9) 次回会合については、主任と相談の上、事務局から構成員にメールで連絡することとなった。

以上